

別記様式第7号

公益信託ぎふNPOはつらつファンド
実績報告書(事業助成用)

平成18年10月31日

公益信託ぎふNPOはつらつファンド受託者
三菱UFJ信託銀行株式会社 御中

住 所:〒 503 - 2417
揖斐郡池田町本郷1531番地 1
法人(団体)名:特定非営利活動法人
校舎のない学校 印

代表者名:理事長 石原 美智子

公益信託ぎふNPOはつらつファンドから平成17年度(前期・後期)の事業助成を受けた事業が完了しましたので、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1. 事業名

「校舎のない学校」実践記録映画の制作、上映会の開催

2. 助成の種類 該当するものに を付けてください。

法人設立準備助成	立ち上げ時事業助成	展開期事業助成	人材育成事業助成
----------	-----------	---------	----------

3. 助成金額

既交付金額	1,590千円
実績額	1,530千円
差し引き額	60千円

4. 事業実施期間

平成17年10月1日 ~ 平成18年9月30日 (1年 0か月間)

5 . 実施した事業の実績・成果

(1) 具体的な活動状況（実施日時、場所(住所)、対象者、参加者等）

「制作」：<平成17年10月19日 助成決定>

平成17年10月20・21日 校舎のない学校事務所（池田町）ビデオ確認

10月25日 校舎のない学校事務所（池田町） NPO法人DAJA <以降DAJA> 清水氏と編集スケジュール打ち合わせ

10月27日～11月30日 校舎のない学校事務所（池田町） 撮りためたビデオからシーン選択 DAJA清水氏、DAJA編集スタッフ中川氏と内容確認作業・校舎のない学校理事長シナリオ大枠作成

12月8日～19日 校舎のない学校事務所（池田町） DAJA編集スタッフ中川氏とビデオ大枠切り取り作業、シナリオ修正

平成18年1月17日～19日 校舎のない学校事務所（池田町）・・・シナリオ修正にあわせた編集（切り取り）のための作業

2月13日～3月16日 DAJA編集スタッフ中川氏（関ヶ原町）第1回編集

4月初旬 元シナリオ作成（池田町）

4月11日～ 校舎のない学校事務所（池田町） ナレーション・テロップ・BGM編集&シナリオ校正

17日～ DAJA事務所（大垣市ソフトピア）清水氏編集・校正

24日～ DAJA編集スタッフ事務所（関ヶ原町）にて編集

5月7日（日）総合ケアセンター（池田町）平成18年度総会でプレ上映、会員の意見を聞くワークショップを実施し再編集開始

5月12日（金）DAJA編集スタッフスタジオ（関ヶ原町）再編集

14日（日）羽田監督監修依頼（池田町）来訪池田

6月22日～ DAJA事務所（大垣市ソフトピア）新しい実践記録を加え清水氏と再々編集・校正

6月30日～7月5日 DAJA編集スタッフスタジオ(関ヶ原町)にて中川氏と最終編集

7月19日（水）いびNPO協議会役員会（揖斐川町）にて上映アンケート協力依頼

20日（木）新生メディカル会議（ふれあい会館）にて上映アンケート協力依頼

31日（月）西濃映像祭実行委員会（まちづくりセンター）にて上映協力・アンケート依頼（参加者10人）

8月16日（水）最終修正版完成

「上映」：

編集作業と並行しながら広報宣伝準備をし、上映案内（上映希望収集のためのアンケート）作成を予定していたが、手がまわらず、作業日程を確認しながら、ポスター・チラシ作成することに変更し、会員向けに先に送付することとした。

また、4月末時点の仮編集のものプレ上映（総会にて）し、内容について意見交換をしながら、結果を反映していった。その後も、編集中の段階で定期上映会を行い、意見を聞きながら、再編集を繰り返し行った。

さらに、当法人ワークショップ事業を実施した後に、参加者に向けての上映会を実施すると同時に、地域の方への参加を呼びかけた。会員の居住地域や勤務先にも上映案内の声かけ協力依頼をしながら、揖斐郡内のいびNPO法人協議会会員向けと地元地域へ上映アンケート配布のお願いも実施した。

日程については、8月～9月中の期間実施を中心としたが、期間内での上映が不可の

場合であっても、相互で調整していき、継続的に上映対応をすることとした。

なかには、居宅介護事業所会議で上映した結果、県内の系列事業所単位で開催される会議で上映することが可能となり、最終的には、延べ400人に鑑賞してもらう予定である。加えて、その後、地元の福祉施設、老人クラブ、民生委員などへと広がりをみせている。

上映アンケート実施：7月中旬～8月初旬 会員・いびNPO協議会及び参加法人・介護事業所21ヶ所・西濃映像実行委員会参加のメンバーへ依頼

- 上映日： 5月7日（日） 総会(総合ケアセンター)にてプレ上映 参加者45人
<上映ボランティア2人、正会員1人>
- 6月22日（木） 岐阜大学社会学授業 学生約200人
<上映ボランティア2人、正会員1人>
- 27日（火） 第1回定期上映会（試写会）（サンビレッジ会議室）
11人 <上映ボランティア1人、正会員1人>
- 29日（火）岐阜大学社会学授業 学生約200人
担当教授スケジュール都合により、監修中のビデオで対応
<上映ボランティア2人、正会員1人>
- 7月16日（日） サマーキャンプinぎふ2期（揖斐川町坂内竹姿庵）
研修参加者5人 <上映ボランティア1人、正会員1人>
- 17日（月・祭）ワークショップ「竹の道づくりボランティア」
（坂内竹姿庵）福祉専門学校学生24人
<上映ボランティア2人、正会員1人>
- 19日（水） 第2回定期上映会（サンビレッジ会議室）8人
<上映ボランティア1人、正会員1人>
- 20日（木） 居宅介護事業所責任者会議（ふれあい会館）41人
<上映正会員1人>
- 23日（日） 森と土のワークショップ（坂内竹姿庵）
研修参加者5人 <上映ボランティア1人、正会員1人>
- 28・29日（金・土）福祉専門学校合宿（坂内集会場）参加者20人
<上映ボランティア1人、正会員1人>
- 8月3・4日（木・金）NPO・ボランティア活動紹介の広場（NPOぷらざ）約20人
<上映ボランティア1人、正会員1人>
- 5・6日（土・日）芭蕉元禄水まつり上映会（大垣市本町）約30人
<上映ボランティア1人、正会員1人>
- 7日（月） 県担当者調査時上映（校舎のない学校事務所）2人
<上映正会員1人>
- 6日（日） サマーキャンプinぎふ4期（坂内竹姿庵）研修参加者
3人 <上映ボランティア2人、正会員1人>
- 13日（日）わくわく映像らんど（大垣市立図書館）約50人
<上映正会員1人>
- 17日（木）県協働提案の場+県教育センター（県庁2F会議室）7人
<上映ボランティア1人、正会員1人>
- 20日（日）夏のワークショップ（坂内竹姿庵）研修参加者9人
<上映ボランティア1人、正会員1人>
- 24日（木）第3回定期上映会（サンビレッジ会議室）15人

<上映ボランティア1人、正会員1人>
 27日(日)夏のワークショップ(坂内竹姿庵)研修参加者9人
 <上映ボランティア1人、正会員1人>
 9月1日(金)福祉専門学校合宿にて上映 参加者11人
 <上映ボランティア1人、正会員1人>
 3日(日)森林セラピー(坂内竹姿庵)参加者6人
 <上映ボランティア1人、正会員1人>
 5日(火)介護研修上映会(高山市民文化会館)研修参加者13人
 <上映正会員1人>
 10日(日)秋のワークショップ(坂内竹姿庵)研修参加者6人
 <上映ボランティア1人、正会員1人>
 16日(土)中部学院(関市)柿本教授上映 <正会員1人>
 19日(日)明星大学(東京)馬場教授上映 <正会員1人>
 法政大学上映打ち合わせ
 21日(木)介護事業所ヘルパー会議(池田町中央公民館)50人
 <上映ボランティア1人、正会員1人>
 24日(日)秋のワークショップ(坂内竹姿庵)研修参加者9人
 <上映ボランティア1人、正会員1人>
 26日(火)第4回定期上映会(サンビレッジ会議室)7人
 <上映ボランティア1人、正会員1人>
 27日(水)サークルユタカノキ上映会(看護大学)3人
 <上映ボランティア1人、正会員1人>
 29日(金)老人クラブ連合会長(サンビレッジ会議室)と介護施設
 職員会議(サンビレッジ会議室)上映会 50人
 <上映ボランティア1人、正会員1人>
 助成期間中の鑑賞者数 延べ661人

上映及び参加者人数予定

10月9日 紅葉のワークショップ(坂内竹姿庵)研修参加者9人
 12日 ぎふNPOふらざ上映会(NPOふらざ)参加者9人
 13日 池田町民生委員・グループホーム外部評価委員会
 (サンビレッジ会議室)約20人
 14日 いび環境塾(坂内竹姿庵)参加者6人
 22日 紅葉のワークショップ(坂内竹姿庵)研修参加者9人
 25日 ぎふNPOふらざ上映会(NPOふらざ)参加者11人
 26日 介護事業所定例会議(宇佐)10人
 11月16日 揖斐郡老人クラブ連合会(揖斐総合庁舎大会議室)約150人
 18日 茅刈りワークショップ(坂内竹姿庵)研修参加者11人

(調整中)

- ・医療福祉専門学校同窓会 約10人
- ・瑞穂市デイサービスセンター「チクタク」約30~40人
- ・大垣IWAMAS(学校)約30人
- ・在宅介護事業所(岐阜市・大垣市)約40人
- ・在宅介護事業所(瑞穂市)約30人
- ・西濃映像祭(大垣市)約50人

(2) 活動の成果（開催行事等の参加規模、目的の達成度、効果等）

「制作」：記録ビデオ映像約100本分の切り取り作業は、当初考えていたものより想像以上に時間を要するものとなった。結果としてスケジュール（上映アンケート作成、上映日程調整など）にずれが生じることとなったが、プレ上映会を定期的に行い、繰り返し編集作業をすすめていくことができた。

また、シナリオ内容に予定していなかった直近のデータの組み込みも可能となり、編集作業スタッフとも日程調整しながら、上映に間に合わせてもらった結果、ほぼ計画期間どおりに終了した。

プレ上映から最終完成版の上映まで、徐々に完成度を上げ、内容もより充実したものになった。

「上映」：当法人の研修事業であるワークショップ参加者（延べ100人）や、編集のものではあったが、大学社会学学生（延べ200人）への上映が実施できたことは、体験研修で学ぶということに加え、「生きる力」「生活の工夫」などを映像通して客観的に実感できるものとなった。

今まで、「体験から学び、住み慣れた地域で自分が責任を持ち、決定し、いくつになっても生き生きと暮らす」ことをパンフレット・チラシなどでの紙面やスタッフから口頭で伝えることからでは、なかなか反応が得られなかったが、映像による視覚効果により、参加してこそ得られる体感効果に近いものが与えられたと思われる。

また、中間調査時のアドバイスを受けとめ、訪問してから伝えるのではなく、映像（ダビングを行ったもの）を教育系大学宛に送付したことは、先行的に、内容をアピールできたこととあわせ、当法人の今後の事業推進につながっていく手ごたえを実感できた。

(3) 今後の課題

制作に関して：単なる記録ではないテーマの絞り込み

内容のバージョンアップ・・・同じ目的をもつ法人への制作の声かけや制作過程を共有することにより、お互いの活動を助け、NPOの活動に参加したいと思っていただけるようなきっかけとなるテーマづくりなど。

専門家による撮影委託から、編集までの費用確保

上映に関して：

体験から豊かに生きる知恵を学び、安心して暮らし続けていける地域づくり・環境づくりをすることの意味を意識してもらえよう、1人でも多くの人に見てもらうための広報宣伝。

西濃圏域以外での上映会実施計画の策定

（上映会の開催手段や目的が同じ法人との協働）。

自主上映会のみでは、入場料が得られないため、別企画（デリバリー体験コーナーなど）や借用する上映会場で開催されている行事とのコラボレーション開催。

映画上映に付随した資料作成など。

鑑賞した人にアンケートを実施して、次の制作に生かす。